

第5章 令和6年度取組結果と今後の検討方針

(1) に令和6年度における下水道技術開発会議の主な取組結果を、(2) に今後の主な検討方針を示す。

(1) 令和6年度の主な取組結果

(課題解決技術支援ツール(試行版)のアクセス状況の整理分析・更新)

令和4年度にHPで一般公開したツールについて、令和6年度のアクセス状況を整理し分析するとともに、データの追加等の更新を行った。

(ロードマップ重点課題の選定、ロードマップ(フォローアップ欄を含む)の更新)

令和6年度の下水道技術ビジョン・ロードマップ重点課題を選定し公表するとともに、最近の技術動向を調査し、ロードマップのフォローアップ欄を更新した。

(エネルギー分科会での検討)

下水処理に伴う N_2O 排出量の実態把握および削減を目指し、OD法処理場の調査や協力地方公共団体からの調査データ収集の取り組み状況を紹介し、分科会より意見を頂いた。また、将来的な全体最適化に向けた検討として、下水道資源利用による貢献についてGHGとLCCの観点での評価の取り組み等について紹介し、分科会より意見を頂いた。これらの意見を踏まえて国総研の調査研究を向上発展させることで、脱炭素に向けた取り組みをさらに強化した。

(ロードマップに沿った技術開発及び導入の促進方策の検討)

新技術の導入促進に向けた課題・現状と検討すべき事項について整理するとともに、技術開発及び導入が迅速に進んだ好事例としてPPP事業を調査した。

(Geマッチングの取り組み状況の報告)

公益社団法人日本下水道協会が令和5年度より運用開始したGeマッチングの取り組み状況について報告し、参加委員に対し所属組織内での利活用を要請した。

(2) 今後の主な取り組み

令和6年度の実績や下水道技術開発会議での議論等を踏まえた令和7年度以降の主な取り組みについて以下に示す。

- ① 課題解決技術支援ツール(試行版)の改良・更新、広報の強化
- ② エネルギー分科会において、下水処理に伴う N_2O 排出量の実態把握および削減に向けた調査や将来的な全体最適化に向けた検討に対する意見・アイデア聴取等
- ③ 開発された新技術の導入を促進し、普及展開を図るための方策の検討